



生徒・保護者・地域のみなさんへ

令和3年度 中野中学校 学校だより

<http://www.sagamihara-nakano-j.ed.jp/>

相模原市緑区中野96 042-784-1240

令和3年

7月20日(火)発行

第4号

「あいさつ運動」に思う

校長 清水 俊次

7月8日には、福祉委員会によるあいさつ運動が行われました。生徒会本部も募金活動を行い、登校する生徒が、互いに大きな声であいさつが交わされていました。本校では何年も前から、PTAの方々や生徒会本部等によるあいさつ運動が行われています。あいさつはコミュニケーションの基本であり、社会がどんなに変わったとしても、大切なもののひとつだと思います。そして、あいさつができる学校は、とても素晴らしい学校だと感じます。4月に中野中学校に赴任して、本当に良い学校にきたのだと嬉しく思う毎日です。

さて、話は少し変わり、正門のフェンスに「あいさつ運動」と書かれた緑色の古ぼけた横断幕があるのを目にしたことはありますか。実はこの横断幕は、PTAの担当だった私が、10年以上前（正確には平成19年度に）に当時の教員と一緒に取り付けたものです。その当時の中野中学校は、今とは違い学校全体が違った意味で元気があり、少し落ち着きませんでした。学校のために何かできることはないのだろうか。当時のPTAの本部の人たちが、市内の同じような経験をした学校の当時の校長先生を呼んでお話を聞くことになりました。季節も今ぐらいだったと記憶しています。お話しの中でその学校が力を入れたのが「あいさつ運動」だったと聞きました。本校でも、あいさつ運動を積極的に進めていこうと決まりました。そんな中で、PTAの方がもってきたのが、あのあいさつ運動の横断幕です。当然中野中学校のものではありませんので、横断幕の下の部分には学校には関係のない言葉も書かれています。そこで、必要ない部分は折り曲げて、フェンスに設置しました。私はいつも正門であいさつ運動を行う度に、あの横断幕を眺めていたことを今でもよく覚えています。あれから十数年経ちましたが、横断幕は雨風や暑さ寒さにも耐え、ずっと中野中学校の生徒たちの登下校を見守ってくれています。そして、私以上に、中野中学校の生徒たちの「あいさつ」に喜んでくれていると思います。中野中学校がいつまでも気持ちよくあいさつが交わされる学校であることを心から願っています。



今日で1学期が終了します。まだまだコロナ禍での生活が続きます。しかし、そのような中でも、生徒たちは日々の学校生活を頑張ったと思います。特に、1年生は5月に若あゆ野外体験活動を、2年生は6月に鎌倉校外学習を実施することができました。3年生の修学旅行は延期の判断をしましたが、10月15日、16日に1泊2日として実施する予定です。また、7月に入り始まった夏の総合体育大会も現在その熱戦が続いています。最後まで悔いを残さないように頑張ってもらいと思います。明日から夏休みになります。長い夏休みは2年振りです。東京都に緊急事態宣言、神奈川県にはまん延防止措置が継続中で、まだまだコロナ禍での生活が続きますが、その中でも、毎日の計画を立てて、充実した毎日を過ごして欲しいと思います。

今年は、2年ぶりの長い夏休みとなります。ゆとりが生まれると柔軟な発想が生まれやすく、新しい自分の発見にもつながります。この夏休みを有意義なものにするために、一人一人に考えてもらいたいことがあります。

みなさんは、今の自分に満足していますか。自分の持っているどんな『力』に自信がありますか。そして、今の自分に影響を与えているものは何でしょうか。少し考えてみてください。

魅力的な人ほど、現状に満足せず、『こうなりたい』『こうありたい』と答えが返ってくるような気がします。このような人は、『なりたい・ありたい』自分が常にいるので、自己の力の分析も自然とでき、現状の力の修正と新たな力の吸収を繰り返し、さらにレベルアップしていくのだと思います。

さて、時代はものすごいスピードで流れていて、身に付けなければいけない力も多様化・複雑化しています。今学期、中野中学校の教室では従来通りの生徒の自治活動の声かけとともに、タブレットを活用（グーグルクラスルーム）しての呼びかけが盛んに行われていました。集まる時間はないけれどクラスルームで意見交換ができる、新しい生徒同士での委員会活動のスタイルが生まれました。このように、日常生活では当たり前のように行っていたコミュニケーションツールが学校生活でも取り入れられたことは革新的であります。さらに、みなさんは生まれた時からインターネットやスマートフォンなどのデジタル関連製品に触れている世代とあって、このような端末の扱いに慣れていて、教師が驚くようなスピード感で学んでいきます。今後も、教師、生徒ともに一緒に成長していくためのツールとなることを期待しています。

まだまだコロナ下にある夏休みですが、このように新しいものを吸収し、現状の自己分析を行い、今よりもっと素敵な自分を目指してほしいと思います。2学期、パワーアップしたみなさんに会うのを楽しみにしています！



体育館に空調設備がつけました。

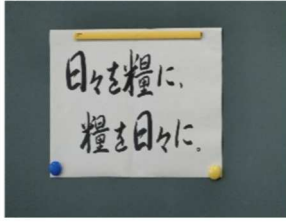
避難場所の指定を受けているため、市内で先駆けて5月より工事がはじまりました。ここで工事は一段落し、体育館の内部の全容がわかりました。空調の使用については、今後調整していきます



夏季休業中の学校の態勢

- 平日の8:00～17:00の間は、日直の職員が勤務しております。
- それ以外の時間と土日及び祭日、学校閉庁日（8月10）

第2回 輝翼祭



スローガン 「日々を糧に、糧を日々に」

文化部門 9月23日(金) 中野中体育館

体育部門 10月9日(土) 中野中グラウンド

第2回輝翼祭にむけて

生徒会長

先日行われた生徒集会で、文化部門の発表順と体育部門の色が決まりました。これが決まると輝翼祭がだんだんと近づいてきたと実感が湧いてきます。2学期からは、本格的に合唱や競技の練習が始まります。練習を通して、クラスの団結力だけではなく学年を超えた「縦のつながり」が生まれます。初めての1年生も先輩として取り組む2年生もそして、最後となる3年生も各クラスの実行委員を中心に“全力”で練習に取り組み、その日々を糧にし、最高の輝翼祭をつくりあげましょう。



文化部門長

本年度輝翼祭文化祭門実行委員会になりました川崎滯です。今年の輝翼祭スローガン「日々を糧に、糧を日々に」の通りに、「合唱は先生に作ってもらうものでもなく、実行委員のみが作るものでもなく、クラスの一人ひとりが参加しひとつになるように作るもの」です。という心づもりを皆さんにもってもらいたいです。クラスの全員とコミュニケーションを取り、各クラス“唯一無二”の歌声を、体育館に響かせましょう。



体育部門長

今年度の輝翼祭体育部門の全体のテーマは「新たな伝統を作る」です。それに基づいて今年度の体育部門委員会の活動は、「他学年との関わりや関係性をより強く深くすること。」「リーダーが中心となり主体的な活動にし、そして、これからの学校生活の糧とする」です。

そこで、種目の選定では、「協力できる種目」「やって楽しい、見て楽しい種目」「努力が報われる種目」ということを考えて決定しました。私は今年度の体育部門が、この先、中野中学校で10年20年続く体育部門になったらいいなと思っています。全員でレベルアップした体育部門にしましょう。





～ 7 月中の大会より～

7月初旬は雨に泣かされ、その後は、暑さと戦い、健闘しています。3年生にとっては中学校最後の大会。明日からまだまだ熱戦は続きます。



【2学期学校行事予定】

(現時点での予定ですので、各学年の行事予定等で確認をお願いします)

曜日	行事	曜日	行事
8月25日(金)	始業式 下校11時	10月9日(土)	輝翼祭(体育部門)
26日(木)	午前中 3時間日課	11日(月)	振り替え休日
27日(金)	弁当持ち 4校時日課 部活動有	15(金)～16(土)	修学旅行(3年)
		20日(水)	給食集金日
		21日(木)	あいさつ運動
30日(月)	弁当持ち 5時間授業	25日～29日	3年進路面談①
31日(火)	弁当持ち 6時間日課 部活動有	11月5(金)・8(月) 9(火)	定期テスト
9月1日(水)	給食スタート 委員会・選管	17日(水)	給食集金
5日(月)	3学年進路保護者会	25日(木)	あいさつ運動
8日(水)	給食集金日	26日～12月2日	3年進路面談②
9日(木)	あいさつ運動	12月15日(水)	給食集金
			1・2年三者面談(～21日まで)
23日(木) 秋分の日	輝翼祭(文化部門) 学校へ行こう週間 ～30日まで	21日(火)	給食終了
		24日(金)	終業式
24日(金)	振り替え休日		

編集後記 2回目の東京オリンピックが開幕します。57年前の東京オリンピックを開催するために、東京ではインフラ整備に迫られ、亡くなった父は道路の建設に関わり、間に合わせようと夜通し仕事をしていたと聞かされていた。実家の近くの馬術場もリニューアルされ、本番を待つだけとなっている。リニューアル前の馬術場は、公園になっていて、今は成人した孫達をつれて、父の孫子守の家族にとっては思い出の場

所だった。跡形もない。きれいなすばらしい馬術場に仕上がっている。今年から学習評価が変わりました。50年後100年後を見据えて、日本だけでなく変動が激しいこの世の中を生き抜く力をつけてもらうために。通信機器を始めとする道具は、日進月歩どんどん変化していく。タブレットをうまく活用している中野中生。たくさんの情報を精査し思考し判断しそれが自分本位ではないこと。粘り強い精神力、体力、そして活用できる知力を備える生徒の育成をこれからも展開していきます。